



第30回原子力安全文化有識者会議での ご意見・ご提言への対応状況

2024年2月29日
中国電力株式会社

■ 前回有識者会議でいただいた意見・提言については、以下のとおり対応している。

【お客さま視点の価値観を認識する機会の拡大に関するもの】

意見・提言	対応状況
<p>■ 地元を一軒一軒訪問する活動を行うことで、住民側にとっては中国電力から直接話を聞くことができ、中国電力側にとっても地域の「生の声」を聴くことのできる絶好の機会を持つことができるので、非常に期待している。</p>	<p>■ 発電所に勤務する社員すべてが、日頃から地域の皆さまにお会いする業務に従事しているわけではありません。そのため、このような地元を歩いて回る活動は、社員にとっても新たな気づきを得る貴重な機会であると考えています。</p> <p>■ このような機会を通して得られたご意見については、当社に対するお褒めの言葉だけでなく、当社に対する叱咤激励を含め、様々な内容のものを全体で共有することで、「地域・社会からの信頼あってこそその原子力発電所」という基本理念にいま一度立ち返る契機といたします。</p>

【コミュニケーションに関するもの】

意見・提言	対応状況
<p>■ 再稼働に向け慌ただしい中、コミュニケーションにおける「ボタンの掛け違い」が起こりやすくなる。一度信頼を失うと元のレベルには戻らないので、他者との関わりの中で覚えた違和感を見逃さず、それを吸収して解決していけるような「受け皿」を整備してほしい。</p>	<p>■ 業務繁忙期においては、周囲に目を配る余裕が少なくなり、その結果、ご指摘のような「ボタンの掛け違い」が生じる可能性があります。</p> <p>■ そのような状況に陥らないよう、各個人の自覚に任せただけではなく、各部署、発電所全体あるいは本社も含めてフォローできるような取組みを引き続き行っていきます。</p> <p>【引き続き行う取組みの例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 島根2号機の再稼働について、安全を大前提に着実に進めるため、グループ会社・メーカーも参画する形で会議体(島根2号機再稼働プロジェクト)を設置し、再稼働に向けた課題を抽出し、計画的かつ体系的に管理。 ➢ 発電所長・副所長と所員の意見交換会を実施。 ➢ 協力会社も含めた「安全協議会」や、その下部組織の「作業安全管理部会」において、現場の状況等について話し合いを実施。 ➢ 2回/月の頻度で、協力会社とコミュニケーションを図り、現場での困り事や改善要望の聴き取りを実施。

【中国電力からの情報発信に関するもの】

意見・提言	対応状況
<ul style="list-style-type: none"> ■ 「世間の良識」というものは刻々と変化しており、従来どおりの説明や広報では通用しないこともあるので、情報発信についてよく考えて取り組んでほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当社を取り巻く状況が刻々と変化し、また情報発信のツールも多様化する中、SNSも活用しながら当社の取り組みや考えが地域の皆さまに対して、「分かりやすく」「円滑に」伝わるよう、工夫していきます。

(参考)メディアを活用した情報発信の例…広報紙「あなたとともに」

島根原子力発電所の運転は私たちが担います! ~運転員の取り組みを紹介~

運転員の仕事って?

今年の8月の再稼働を目指して頑張っています!

今年8月、12年ぶりの再稼働をめざす!

再稼働したら、久しぶりの運転になるけど操作のこととか心配にならない?

もし、私だったら心配になっちゃうな...

ふむふむ...説明するよ!

心配はご安心を! 運転員は日頃から訓練に取り組み運転技術を磨いています。だから準備は万全だよ!

そんな人! 運転員の仕事についてもっと知りたいな!

こんにちは。私が、お話しします。

せっかくだから実際の運転員と話を聞いてみよう!

どんな人が運転してるんだろ?

皆さん、こんにちは! 当直長の西本です。今回は、運転員の仕事や運転技術向上に向けた日々の取り組みについて紹介します!

西本さんは運転員を求むる当直長! 高い技術力が評価され、エネルギー・マスターにも認定されているベテランだよ!

※エネルギー・マスター...技術標準を促進する取り組みの一つとして、経験豊富で高い技術力を持つ社員を(エネルギー・マスター)に認定。約4,600人の社員のうち28人が認定されている。(2023年12月時点)

Q1 長らく発電していないけど…。運転操作は大丈夫?

A. 運転員は実際の制御室を再現した訓練施設で、運転技術を磨いています。訓練を重ね、十分な力量を備えた運転員が運転を行います。

運転訓練シミュレータ

オペレーター
サブオペレーター

この他、若手運転員を中心に、運転中の別の発電所で業務経験を積むなど、技術向上に努めています。

本物同様の設備で訓練しているんだ! これなら、発電所が運転していなくても、しっかりと経験を積むことができるね!

Q1 運転員の仕事って?

A. 運転員は、「当直長」をリーダーとするチームを編成し、運転にあたります。発電所を24時間体制で監視し、不具合があれば速やかに対応します。

24時間365日常駐!

運転員のチーム編成(2号機の場合)

当直長 (1名)	運転を熟知した統括責任者 チーム全体の指揮をとる
当直副長 (1名)	当直長を補佐する、ベテラン運転員
オペレーター (2名)	主に運転操作を担当
サブオペレーター (2名)	オペレータを補佐する、若手運転員

体制

交代勤務

役割

発電所の状態を監視

不具合にも速やかに対応

日頃からチームで訓練に取り組み、チームワークを高めています!

熟練の当直長がチームをまとめているんだ〜。安心感があるね!

Q1 大きな災害が発生しても対応できる?

A. 地震や津波などの災害が発生しても、発電所を安全な状態に保てるよう過酷な状況を想定した訓練を繰り返し行っています。

運転指導員はさまざまな訓練条件を付与

異常を示す警報が鳴り響く中、運転員は発電所の状況を確認。発電所の安全確保に必要な運転操作を行います。

たくさんの警報ランプが光って、すごい緊迫感! しっかり訓練を重ねて、安全を守ってね!

これからも、地域の皆さまの安心、安全のため、精一杯がんばります!

Topic 総合防災訓練を実施しました

中川社員も参加
本社(広島)との連携も確認!

昨年11月24日、複数回にわたる大地震の発生など過酷な状況を想定した総合防災訓練を実施しました。訓練には約480人が参加。指揮命令や原子炉冷却の訓練を行いました。

対策本部の訓練風景

※2024年冬号(2024年1月28日発行)

⇒松江、出雲、安来、雲南、米子、境港の6市の新聞全紙(約21万部)に折り込みで配布

⇒広報紙や当社ホームページで紹介した原子力に関するトピックス等について、SNSを活用し適宜発信中